

下田市立学校等再編整備審議会 説明資料

中学校再編に関する経過説明

平成29年4月 下田市教育委員会

これまでの経過について①

1 平成26年度以前

年月	事柄	主な内容
H19.12	下田市立小・中学校再編整備について(答申) (下田市立学校等再編整備審議会 →下田市教育委員会)	<ul style="list-style-type: none">・単学級編成の学校において少人数による支障が教育活動に生じてくる場合は、市内4中学校体制を検討し新たな中学校体制を構築する。・平成22年4月1日に稲梓中学校と稲生沢中学校を統合し、稲生沢中学校校舎に新中学校を創設する。
H21.5	教育委員会で統合先送りの結論(5月定例会)	<ul style="list-style-type: none">・稲梓中学校と稲生沢中学校の統合は、当面先送りする。ただし、保護者・地域からの要望によっては統合に向け前向きに取り組んでいく。※当時の保護者や地域住民の方の十分な同意を得ることができなかったため。
H26.12	学校再編整備について(諮問) (下田市教育委員会 →下田市立学校等再編整備審議会)	<ul style="list-style-type: none">・少子化の流れが更に加速し、教育環境を取り巻く状況は変化を続けており、今後の児童生徒数の動向を見据えつつ、平成19年当時の答申を踏まえ、学校教育環境のあり方について、意見を求める。
H27.3	学校再編整備について(答申) (下田市立学校等再編整備審議会 →下田市教育委員会)	<ul style="list-style-type: none">・市内中学校は、近い将来、少人数による教育課題が生じる可能性。将来的には中学校は一つということも、視野に入れて再編を考えていくべきと思われる。・現状では、中学校の再編による課題を一つずつ認識し、その第一段階として、稲梓中学校と稲生沢中学校を統合し、現在の稲生沢中学校校舎に新たな中学校を構築すべきである。・下田東中学校が単学級となった場合、下田中学校との統合を推進。更には、将来は下田市に中学校は一つということも視野に入れ、中学校再編を考えていく。

これまでの経過について②

2 平成27年度

年月	事柄	主な内容
H27.4	第1回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について・下田市総合教育会議設置要綱について・(仮称)下田市教育大綱について
H27.6	学校等再編整備審議会答申に関する説明会	<ul style="list-style-type: none">・4中学校区ごと開催 小中PTA役員対象 97人参加
H27.10	第2回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・下田市教育大綱(案)について・新給食センターについて・学校再編について
H27.12	第3回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・下田市教育大綱(案)について・学校再編について
H28.1	学校再編アンケート調査実施	<ul style="list-style-type: none">・市内小中学校のすべての保護者及び教職員を対象回答数:1,131(保護者984・教職員147)保護者回答率67%
H28.2	第4回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・学校再編について

これまでの経過について③

3 平成28年度

年月	事柄	主な内容
H28.4	第1回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・学校再編アンケートの分析結果について・学校等再編方針検討会の設置及び今後のスケジュールについて・庁内プロジェクトチームの設置について
H28.5 H28.7	下田市総合教育会議懇談会	<ul style="list-style-type: none">・報告書内容の事前協議(2回開催)
H28.8	第2回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・「下田市立中学校再編に係る報告書」策定
H28.10	第1回下田市立中学校再編検討会議	<ul style="list-style-type: none">・総合教育会議報告書概要説明及び今後のスケジュールについて※再編検討会議＝再編に関する意見を聴取する組織
H28.10～ H28.11	市長と語る会 保護者説明会	<ul style="list-style-type: none">・市内6地区ごと・4中学校学区及び幼保こども園(全8回)
H28.10～ H28.12	保護者及び教職員アンケート調査実施	<ul style="list-style-type: none">・配付1,882 回収1,222 回収率65%
H28.11	下田市立中学校再編検討会議 中学校視察	<ul style="list-style-type: none">・稲生沢中学校及び下田中学校視察
H28.12	第2回下田市立中学校再編検討会議	<ul style="list-style-type: none">・中学校学区別意見交換
H29.2	第3回下田市立中学校再編検討会議	<ul style="list-style-type: none">・「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地等に関する報告書(案)」概要説明
H29.3	教育委員会3月定例会	<ul style="list-style-type: none">・「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地等に関する報告書」策定

総合教育会議報告書について①

1 下田市総合教育会議について

◎下田市総合教育会議設置要綱(平成27年下田市告示第30号)抜粋
(設置)

第1条 市長と下田市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、円滑に意志疎通を図り、本市の教育の課題及び目指す姿を共有しながら、同じ方向性の下、連携して効果的に教育行政を推進していくため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第1条の4第1項の規定に基づき、下田市総合教育会議(以下「教育会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 教育会議は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定又は変更に係る協議
- (2) 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策に係る協議
- (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置に係る協議
- (4) 前3号に掲げる構成員の事務の調整

(構成員)

第3条 教育会議は、市長及び教育委員会をもって構成する。

総合教育会議報告書について②

2 総合教育会議報告書策定の経緯

平成27年3月26日 下田市立学校等再編整備審議会 答申内容(一部)

- ・稲梓中と稲生沢中との統合
- ・下田東中が単学級となった場合の下田中との統合
- ・将来において、下田市に中学校は一つということも視野に入れた中学校再編を考えていく



下田市総合教育会議(構成員:市長、教育長、教育委員4名 計6名)

- ・二つの中学校に統合した数年後に再び一つに統合することへの懸念
- ・少子化が進行している中、4校を一度に統合するという方法も考えることができるのではないか



中学校の規模に関わる諸課題や学校再編アンケートの検証、下田市立4中学校の生徒数推移及び現状などを踏まえ、協議、検討し、報告書を取りまとめ

総合教育会議報告書について③

3 総合教育会議報告書の構成①

「下田市立中学校再編に係る報告書」

- 1 下田市立学校等再編整備審議会答申と下田市総合教育会議の検討について
- 2 中学校の規模について
 - (1) 国が示す中学校の標準規模と現状
 - (2) 中学校の規模に関する基本的な考え方
 - (3) 生徒数減少に伴う課題
 - ① 学級数が少ないことによる学校運営上の課題
 - ② 教職員数が少なくなることによる学校運営上の課題
 - ③ 学校経営上の課題が生徒に与える影響
 - ④ 学校規模の標準を下回る場合の対応の目安
 - ⑤ 望ましい学級数の考え方
- 3 中学校再編に関する下田市総合教育会議の方向性について
- 4 今後の中学校再編に関する検討について

総合教育会議報告書について④

3 総合教育会議報告書の構成②

「下田市立中学校再編に係る報告書(別冊)」①

- 1 下田市総合教育会議開催経過について
 - (1)開催の経過
 - (2)学校再編に係る検討内容について
- 2 下田市立学校等再編整備審議会答申(平成27年3月26日答申内容)について
 - (1)答申内容について
 - (2)答申内容に対する下田市総合教育会議の検討
- 3 学校再編整備アンケートの実施及び検証結果について
 - (1)調査の概要
 - (2)調査の検証結果について
- 4 下田市立4中学校の生徒数推移及び現状について
 - (1)これまでの生徒数について
 - (2)平成40年度までの想定生徒数について(4中学校)
 - (3)平成33年度以降1校化統合想定
 - (4)教職員数及び部活動の現状

総合教育会議報告書について⑤

3 総合教育会議報告書の構成③

「下田市立中学校再編に係る報告書(別冊)」②

5 中学校の規模について

- (1) 法令等から見た中学校の規模について
- (2) 学校規模によるメリット・デメリットについて

6 新中学校候補地について

- (1) 新中学校候補地について

参考 通学費補助に係る検討について

- (1) 現行の通学費補助について
- (2) 中学校統合に係る通学費補助想定について
- (3) 通学費補助内容の決定について

参考 下田市立中学校再編スケジュール案(H28.4からH30.7)

総合教育会議報告書について⑥

4 中学校再編に関する方向性について

下田市総合教育会議では、中学校の規模に関わる諸課題や学校再編アンケートの検証、下田市立4中学校の生徒数推移及び現状などを踏まえ、協議、検討した結果、以下の方向性を示しました。

1 中学校の統合手法について

方向性 下田市立4中学校を一度に統合する1校化の手法が望ましい。

- 理由**
- ① 稲梓中学校と稲生沢中学校を統合したとしても再び単学級の発生が近い将来見込まれるため。
 - ② 国が示す標準規模校(学級数が12学級から18学級)の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせていくため。

2 新中学校候補地について

中学校設置基準、既存4中学校跡地の活用、防災面での安全性及び国の基準を参考に市内全域からの通学を考慮した結果、現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましい。

総合教育会議報告書について⑦

5 今後の中学校再編に関する検討について

今後の中学校再編に関する検討は、報告書に以下のとおり記載されており、この記載内容に基づき、更に協議及び検討を進めております。

今後の中学校再編の検討に当たっては、生徒の教育環境を守り、改善することを第一目的とし、次の点に留意し進める必要があります。

- 1 下田市総合教育会議では、4校を一度に統合する1校化の手法が望ましいという結論に達しましたが、今後、更なる中学校再編に関する課題の検討等を行うため、保護者、地域住民、学校関係者から成る会議を設置し、具体的課題解決への方策を検討すること。
- 2 アンケート分析の結果、中学校再編に関する情報について、保護者等に対し十分に伝達されていない状況が伺えるため、方針を明確に示したうえで、保護者、地域住民等に対する説明会を開催すること。
- 3 今後、人口減少がより進行し、これまで学校を中心に培ってきた教育環境や地域の文化伝統の維持継承が困難となることが予測されるため、中学校と地域とのつながりをより強固とする方策を検討すること。
- 4 これまでの下田市総合教育会議の協議内容や検討資料等を別冊として取りまとめたのでそれらを基に再編について検討すること。

教育委員会報告書について①

1 教育委員会報告書策定の経緯

平成28年8月26日「下田市立中学校再編に係る報告書(下田市総合教育会議策定)」で示された方向性

- ・下田市立4中学校を一度に統合する1校化の手法とするのが望ましい
- ・新中学校候補地について、稲生沢中学校または下田中学校跡地とするのが望ましい



下田市教育委員会として、中学校再編に係る課題について、様々なご意見を聴取する必要があると判断。意見を取りまとめるとともに、それら意見から教育委員会としての方向性を示すため、報告書を策定。

【意見を聴取するための取り組み】

- (1) 下田市立中学校再編検討会議の設置
- (2) 総合教育会議報告書保護者説明会の開催
- (3) 市長と語る会の開催
- (4) 総合教育会議報告書中学校再編に係るアンケート調査の実施

教育委員会報告書について②

2 教育委員会報告書の構成①

「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地等に関する報告書」①

- 1 中学校再編に係る今後の方向性について
 - (1)これまでの経過と今後の中学校再編に係る協議について
 - (2)今後の方向性について
 - (3)既存中学校の跡地利用について
- 2 下田市立中学校再編に係る報告書保護者説明会
 - (1)説明会開催概要
 - (2)主な意見
 - (3)説明資料
- 3 下田市総合教育会議報告書中学校再編に係るアンケート調査
 - (1)調査概要
 - (2)調査検証結果

教育委員会報告書について③

2 教育委員会報告書の構成②

「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地等に関する報告書」②

4 下田市立中学校再編検討会議概要

- (1) 下田市立中学校再編検討会議概要
- (2) 下田市立中学校再編検討会議意見

5 2中学校の比較について

- (1) 2中学校の現況
- (2) 2中学校の比較

6 新中学校必要面積及び概算事業費等について

- (1) 下田市立4中学校の維持管理経費について
- (2) 新中学校の普通教室必要面積の考察
- (3) 新中学校における特別教室及び管理諸室とその大きさ
- (4) 2中学校のメリット・デメリット及び概算事業費

参考 (1) 市長と語る会概要

- (2) 今後のスケジュール案

教育委員会報告書について④

3 今後の方向性について①

総合教育会議報告書において、「段階を踏まず、4校を一度に統合する1校化の手法が望ましい」と示されたことから、下田市教育委員会では、中学校再編に係る課題について、下田市立中学校再編検討会議やアンケート調査などから貴重なご意見を聴取させていただき、次のとおり、今後の方向性を取りまとめました。

1 校舎位置

方向性 現在の下田中学校敷地を利用し、新たな中学校を設置したい。

理由 下田市総合教育会議において、新中学校候補地は、「現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましい」という方向性が示されました。下田市立中学校再編検討会議での意見やアンケート結果、既存学校施設状況、周辺環境なども含め総合的に検討した結果、生徒の学習環境を守り、改善していくことを第一目的とした場合、現在の下田中学校敷地が望ましいという方向性に至りました。しかし、懸念とされている通学における防災や防犯などの安全性を高めるための対応やその他の課題については、今後、更なる検討を行う必要があります。

教育委員会報告書について⑤

3 今後の方向性について②

2 通学補助

方向性 保護者への負担を考慮すると全額補助としたいが、最低でも現在、負担している以上の負担はかけないことを前提に、継続して検討する。

理由 市内全域からの通学となるため、教育を受けるための不公平感の是正、時間的、精神的制約への対応を考慮すると全額補助が望ましいと認識していますが、市の財政状況を考慮すると現在、保護者に負担している以上の負担はかけないことを前提に、今後、更なる検討を行う必要があります。

3 建設手法

方向性 既存学校施設を最大限活用した大規模改修を視野に入れ、継続して検討する。

理由 下田市立4中学校を一度に統合するためには、多額な事業費が必要となりますが、現在の市の財政状況を考慮すると既存学校施設や補助制度を最大限活用した大規模改修を視野に入れ、今後、更なる検討を行う必要があります。

4 既存中学校の跡地利用について

下田中学校以外の既存中学校の跡地利用については、今後、中学校再編に係る政策決定を行った後に検討します。また、まちづくりの観点からも跡地利用は非常に重要なことから、市としても全庁的な対応にて、地域との協議を進める予定です。

再編整備審議会への諮問内容について

1 下田市立中学校の再編整備について

(1) 統合手法及び校舎位置

現在の下田中学校敷地を利用し、4校を統合した新たな中学校を設置したい。

(2) 通学補助

全額補助または現状の保護者負担以下の必要最低限の負担としたい。

(3) 建設手法

既存学校施設や補助制度を最大限活用した大規模改修を視野に入れた手法としたい。

スケジュールについて

1 平成29年度上半期

年月 (予定)	事柄	主な内容
H29.4	第1回下田市立学校等再編整備審議会	・諮問、経過説明等
H29.5	第2回下田市立学校等再編整備審議会	・答申案についての協議、検討等
H29.6	第3回下田市立学校等再編整備審議会	・答申の策定
H29.7	教育委員会7月定例会	・再編整備審議会答申の事前確認
H29.7	第1回下田市総合教育会議	・再編整備審議会答申の協議、調整
H29.8～9	下田市政策会議	・中学校再編についての政策決定

※政策決定後、下田市議会9月定例会にて、新しい学校のあり方、学校名、校歌、校章、通学方法等より具体的な事柄を審議する「下田市立学校統合準備委員会」の委員報酬及び基本計画策定費用を補正予算にて計上予定。

※下田市議会9月定例会終了後、中学校再編に関する経過説明会を保護者、学校、地域に対し、開催予定。